

IPテレホンUD

UD-映像アダプタ取扱説明書

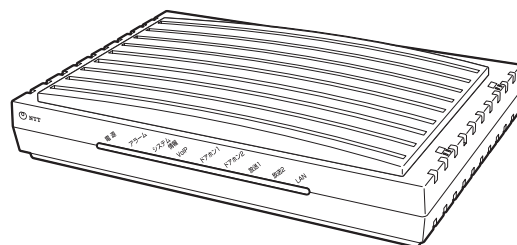
1
前に
お使
いし
にな
る

2
FOMA
で使
用す
る操
作手
順

3
行
う
Web
設
定を

4
能
を
利
用
す
る
Web
保
守
機

5
ご
参
考
に



このたびは、IPテレホンUD UD-映像アダプタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご理解をさせていただきます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。






安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音、録画などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法（●P8）にしたがって消去する必要があります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書とともにIPテレホンUD UD-主装置およびUD-標準電話機の取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 本書とともにご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 記載している画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は本商品にてご確認ください。また、機能向上のため画面は予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

*Microsoft、Windows およびWindows Vista は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

*FOMAは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中に™、®マークは明記しておりません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

警告

● 本商品、電源プラグ、接続ケーブルのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源プラグ、接続ケーブルに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品や電源プラグ、接続ケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気が多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

● 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペット・ソファなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

注意

● 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
- ・ 振動、衝撃の多い場所。

● 本商品を壁掛け設置する場合は、専用の取り付け金具によりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

● 万一漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

- アース線が取り付けられるところは次の部分です。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを65 cm以上、地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事（D種）が行われている接地端子
- 次のようなところには絶対アース線を取り付けしないでください。
 - ・ ガス管
 - ・ 電話専用アース線
 - ・ 避雷針
 - ・ 水道管や蛇口

お願い

● 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。

● 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お取り扱いについて



- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 万一、本商品内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。
- 本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 本商品や電源プラグ、接続ケーブルに水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグ、接続ケーブルの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- お客様による本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などは危険ですから絶対におやめください。本商品の設置工事、配線作業、修理、移動などを行うときは、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 本商品の電源コードや接続ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると本商品の電源コードや接続ケーブルが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや接続ケーブルが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品の電源コードや接続ケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品や本商品の電源コードや接続ケーブルを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品の電源コードや接続ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。



警告

- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - ・ 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・ 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
 - ・ 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ 本商品にテーブルクロスなどをかける。
 - ・ 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。
- 近くに雷が発生したときは、電源コード、LANケーブルを抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を移動するときは、電源プラグ、接続ケーブルを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、接続ケーブルが差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意

- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

- 電源を再度入れる場合は、電源を切った状態から5秒以上たったあとに行ってください。
- 使用中は電源を切らないでください。設定変更中やバージョンアップ中に電源を切ると、回復不能な故障の原因になることがあります。
- 本商品の電源プラグを抜いたままにしないでください。本システムが使えません。
- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

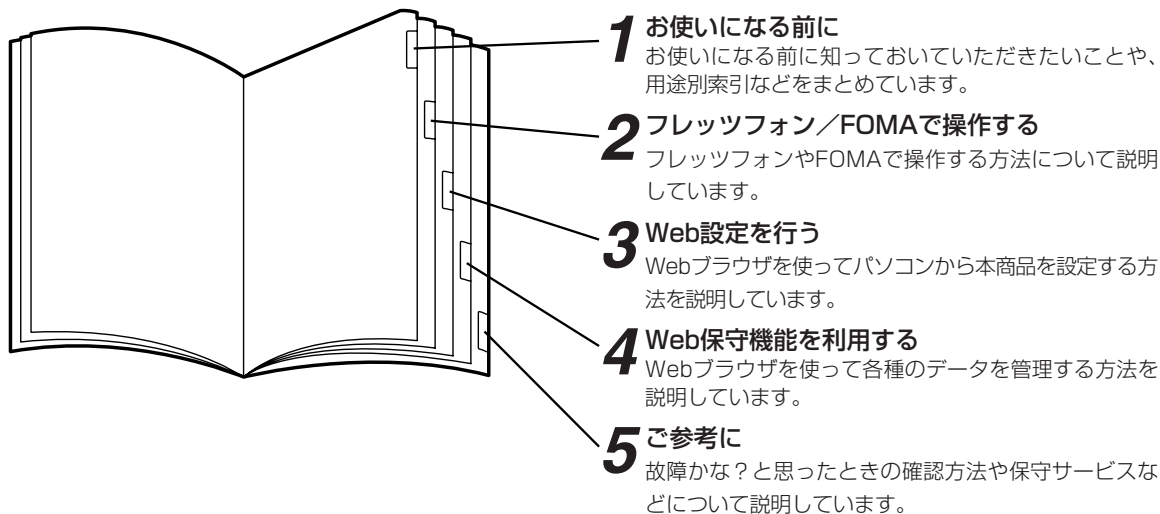
廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを下表にしたがって消去する必要があります。

記録内容	処置（取扱説明書参照ページ）
すべての設定データ	本商品を初期化してください。（P44）

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



※ 本商品をご利用になるには、UD-主装置の設定が必要です。「用途別索引」(●P12) をご覧のうえ、UD-主装置の取扱説明書をあわせてお読みください。

操作説明のページの構成

章タイトル ————

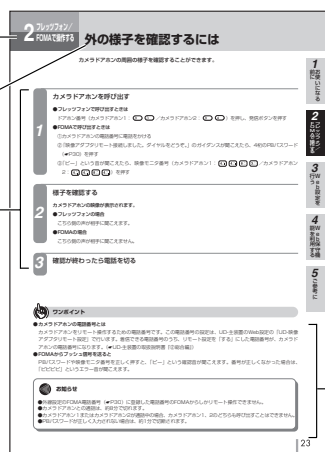
章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル ————

目的ごとにタイトルが付けられています。

操作手順説明 ————

順番に操作を説明しています。



ワンポイント/お願い/お知らせ

ワンポイント
知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示します。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を發揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見方	9

1 お使いになる前に

システム概要	11
用途別索引	12
セットを確認してください	14
各部の名前とはたらき	15
本商品を設置する	17
据え置き台を取り付ける	17
壁に取り付ける	17
本商品を接続する	18
本商品をUD-主装置に接続する	18
本商品にカメラドアホンを接続する	19

2 フレッツフォン/FOMAで操作する

フレッツフォン/FOMAで操作するには	20
必要な準備について	20
遅延応答について	20
映像の保存について	21
ドアホンからの呼び出しに応答するには	22
外の様子を確認するには	23
映像をFOMAで再生/削除するには	24

3 Web設定を行う

UD-主装置にパソコンを接続する	25
UD-映像アダプタ設定を行う	26
UD-映像アダプタ設定一覧	29

4 Web保守機能を利用する

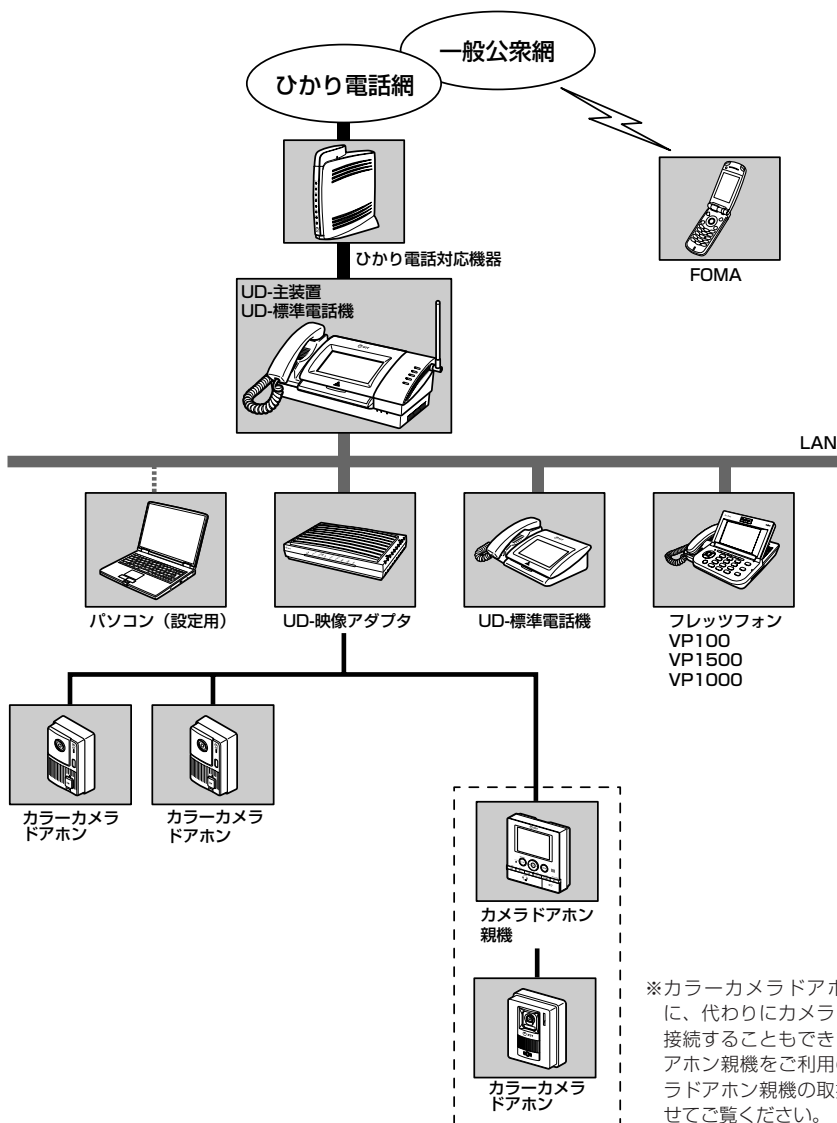
UD-映像アダプタメインメニュー画面を表示する	32
ブラウザ保守パスワードを設定する	33
現在の状態を確認する	34
通話のログを確認/保存/消去する	35
動作のログを確認/保存/消去する	36
設定を保存する	37
設定を復元する	38
自動ファームアップの設定を行う	39
Webブラウザから手動で更新する	40
ローカルでファームウェアを更新する	41
UD-映像アダプタを再起動する	42

5 ご参考に

停電になったときは	43
UD-映像アダプタをお買い求めのときの 状態に戻す	44
故障かな?と思ったら	45
索引	47
仕様	49
保守サービスのご案内	50

システム概要

本商品は、UD-主装置、カラーカメラドアホンと組み合わせ、来訪者の映像をUD-標準電話機やVP100等のフレッツフォンで表示したり、映像を保存するための装置です。UD-主装置であらかじめFOMAとの転送を設定しておけば、来訪者の映像をFOMAで確認することもできます。



※カラーカメラドアホンを接続せずに、代わりにカメラドアホン親機を接続することもできます。カメラドアホン親機をご利用の場合は、カメラドアホン親機の取扱説明書も合わせてご覧ください。

1
前にお使いになる

2
FOMAで操作する

3
Web設定を行う

4
Web利用する機能

5
ご参考に

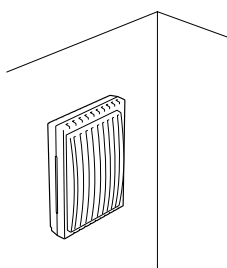
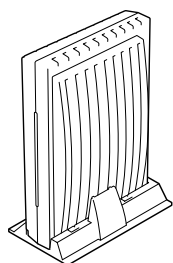
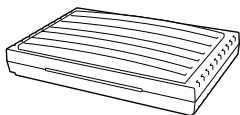
用途別索引

本商品をご利用になるには、UD-主装置の設定が必要です。また用途によっては、UD-標準電話機での操作や設定が必要です。UD-主装置やUD-標準電話機の取扱説明書をあわせてお読みください。

■設置する

横置きで設置するほか、縦置き、または壁に取り付けることができます。

- 据え置き台を取り付ける ●P17
- 壁に取り付ける ●P17



■接続する

本商品をUD-主装置やカメラドアホンと接続し、電源を入れてランプ表示を確認します。

- 本商品を接続する ●P18

■「テレビ電話接続サービス」の設定をする

ひかり電話の付加サービス「テレビ電話接続サービス」を契約された場合は、UD-主装置のWeb設定またはUD-標準電話機での設定が必要です。正しく設定を行っていないと、サービスを利用した機能をお使いになれません。

- Web設定する ●UD-主装置の取扱説明書『②総合編』
- UD-標準電話機で設定する ●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』

■カメラドアホンからの呼び出しを受ける内線電話機や、映像を映す内線電話機を設定する

どの内線電話機に着信させるかを設定できます。また、着信時に映像を映す内線電話機（2台まで）*を設定できます。

- ドアホン設定する ●UD-主装置の取扱説明書『②総合編』

* 着信時に映像を映すように設定されていない内線電話機でも、呼び出しに应答すると映像が映ります。

■カメラドアホンからの呼び出しに应答する

カメラドアホンからの呼び出しに应答し、来訪者と通話します。

- UD-標準電話機で操作する ●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』
- フレッツフォンまたはFOMA*で操作する ●P22

*カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで应答するには、あらかじめ「ドアホン転送設定」でFOMAの電話番号を登録しておく必要があります。（●UD-主装置の取扱説明書『②総合編』）



■外の様子を確認する

カメラドアホンを呼び出して、周囲の様子を確認することができます。

- UD-標準電話機で操作する ●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』
- FOMAで操作するために必要な準備 ●P20
- フレッツフォンまたはFOMA*で操作する ●P23
- ※FOMAからカメラドアホンの映像を確認するには、あらかじめ「映像アダプタリモート設定」の設定が必要です。(●UD-主装置の取扱説明書『②総編』)

■カメラドアホンの映像を録画する

お買い求め時には、カメラドアホンのボタンが押されてから3秒後に自動的に録画が開始され、5秒間の映像が録画されるように設定されています。UD-標準電話機では、映像を手動で保存することもできます。

- UD-標準電話機で操作する ●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』
- 自動保存の設定を変更する（自動保存動作、保存開始タイマ時間、保存時間） ●P26、29

■映像を再生／削除する

保存されているカメラドアホンの映像を、再生、削除できます。

- UD-標準電話機で操作する ●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』
- FOMAで操作するために必要な準備 ●P20
- FOMAで操作する ●P24

■来客があったことをメールで確認する

留守中などカメラドアホンからの呼び出しに応答できなかったときに、あらかじめ登録したアドレスにメールが自動送信されるようにすることができます。映像動作設定の自動保存動作が「未応答保存」に設定されているときに有効です。

- メールを送信を設定する（メール通知設定） ●P26、30
- 自動保存動作を設定する ●P26、29



■自動ファームアップを設定する

本商品は、自動で更新ファームウェア有無のチェックが行われるように、お買い求め時に設定されています。自動ファームアップの設定を変更することができます。

- 自動ファームアップの設定を行う ●P26、31、39

■各種のデータを管理する

通話ログや動作ログを確認、保存、消去したり、設定を保存、復元することができます。本商品に保存されている設定データや蓄積データを消去することもできます。

- Web保守機能を利用する ●P32

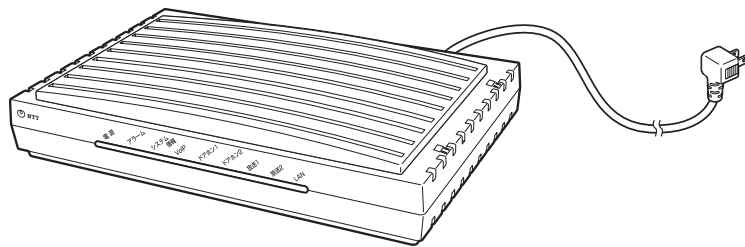


お知らせ

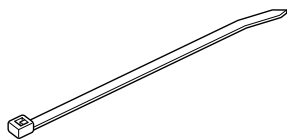
- FOMAを利用して応答したり、外の様子を確認する場合は、テレビ電話接続サービスのご契約（無料）と設定が必要です。
- FOMAで操作する場合、一部のテレビ電話未対応機器、およびプッシュ信号送出未対応の機器はご利用になれません。またテレビ電話の設定によってはプッシュ信号を出す機能が使えなくなっていることがあります。事前に設定を変更してください。
- カメラドアホンの映像をUD-標準電話機から手動で保存した場合、保存開始タイマ時間後に自動的に録画された映像は保存されません。

セットを確認してください

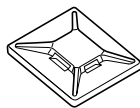
■本体



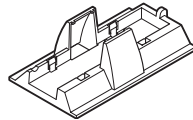
■付属品



結束バンド
(1本)



結束バンド固定具
(1個)



据え置き台
(1個)



壁掛け用品
(1式)



取扱説明書 (本書)
(1部)

- 保証書 (1枚)
- NTT通信機器お取扱相談センタシール (1枚)

●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

各部の名前とはたらき

1
前
に
お
使
い
に
な
る

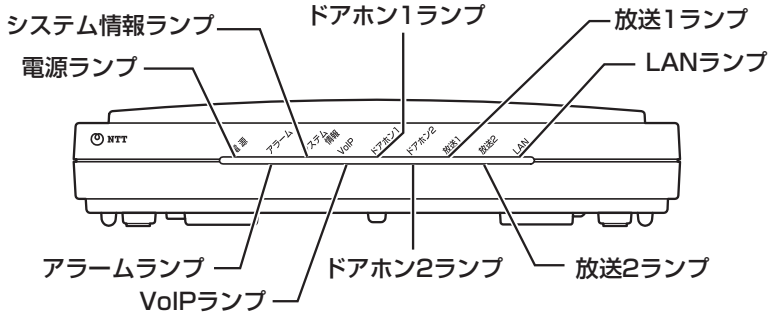
2
F
O
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
W
e
b
設
定
を

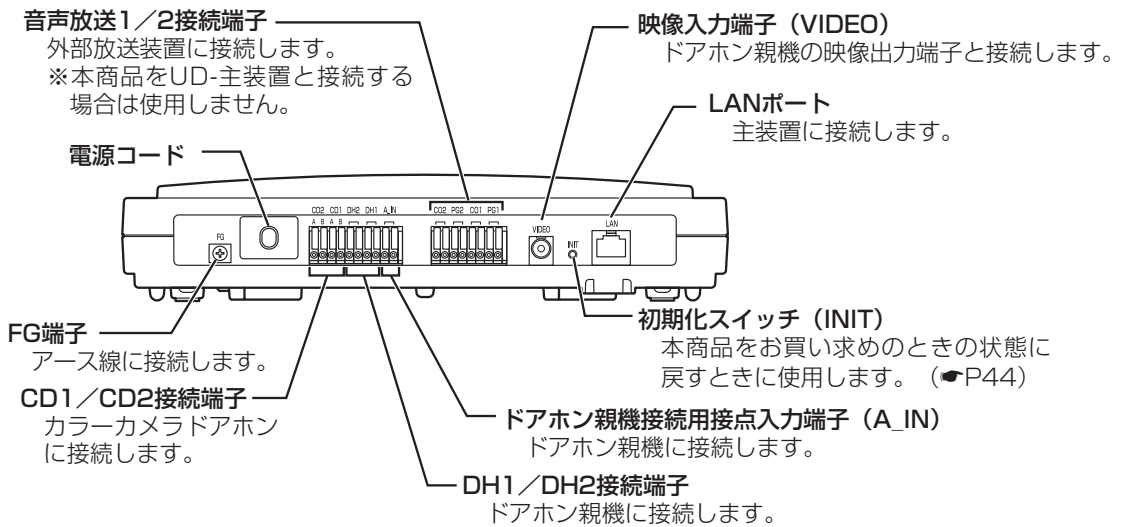
4
能
W
e
b
保
守
機
を
利
用
す
る

5
ご
参
考
に

【前面】

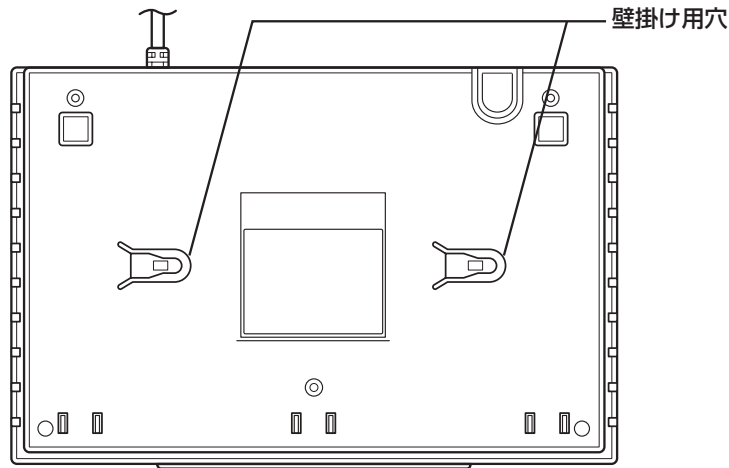


【背面】



各部の名前とはたらき

【底面】



【ランプ表示】

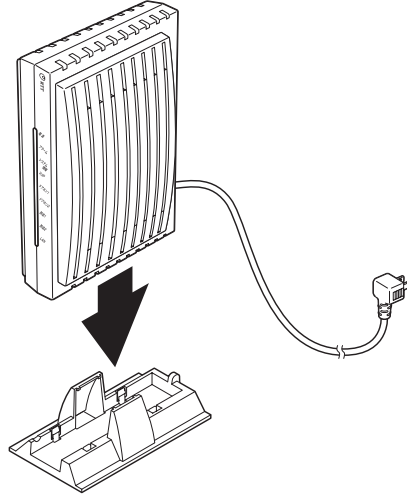
ランプの種類	ランプのつき方 (色)	本商品の状態
電源ランプ	点灯 (緑)	電源が入っている
	消灯	電源が切れている
アラームランプ	消灯	正常な状態
	点灯 (赤)	エラー発生中
	点滅 (赤)	ファームウェアのバージョンアップ中、または設定データのダウンロード中 (電源を切らないでください)
システム情報ランプ	点灯 (緑)	システム起動中
	点滅 (緑)	システムが正常に動作している状態
	2回点灯 (緑)	更新ファームウェアがある、または手動バージョンアップ完了後、再起動待ちの状態 (●P40 「Webブラウザから手動で更新する」、●P41 「ローカルでファームウェアを更新する」)
	消灯	システムが起動していない状態
VoIPランプ	点灯 (緑)	通話できる状態
	消灯	通話できない状態
ドアホン1ランプ	点灯 (緑)	カラーカメラドアホン1が使用状態
	点滅 (緑)	映像を保存中の状態
ドアホン2ランプ	点灯 (緑)	カラーカメラドアホン2が使用状態
	点滅 (緑)	映像を保存中の状態
放送1ランプ	点灯 (緑)	外部放送装置1が使用状態
放送2ランプ	点灯 (緑)	外部放送装置2が使用状態
LANランプ	点灯 (緑)	100Mbpsでリンク状態
	点滅 (緑)	100Mbpsでデータ送受信状態
	点灯 (オレンジ)	10Mbpsでリンク状態
	点滅 (オレンジ)	10Mbpsでデータ送受信状態

本商品を設置する

本商品は、横置きで設置するほかに、据え置き台を取り付けて縦置きにしたり、壁や柱などに取り付けたりすることができます。

据え置き台を取り付ける

据え置き台を取り付けて、縦置きにします。
電源コード側を下にして、据え置き台に取り付けてください。



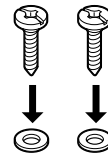
壁に取り付ける

本商品を壁に取り付けて使用することができます。付属品の壁掛け用ネジ（長さ19 mm）2本とワッシャ2枚を使って壁や柱などに取り付けてください。

1 2本の壁掛け用ネジの取り付け位置（上下幅135 mm）を決める

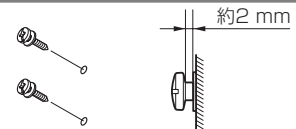
壁掛け用ネジを壁に付ける際は、ページ下に記載の矢印の間隔にネジを取り付けてください。

2 ワッシャに壁掛け用ネジ（長さ19mm）を差し込む

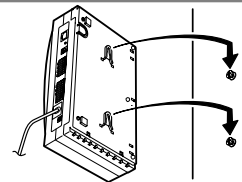


3 壁掛け用ネジ2本を壁に取り付ける

ネジの頭と壁側のワッシャの間に約2 mmの隙間ができます。



4 本商品底面の壁掛け用穴を、壁に取り付けたネジに引っ掛ける



注意

ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁に本商品を取り付けしないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

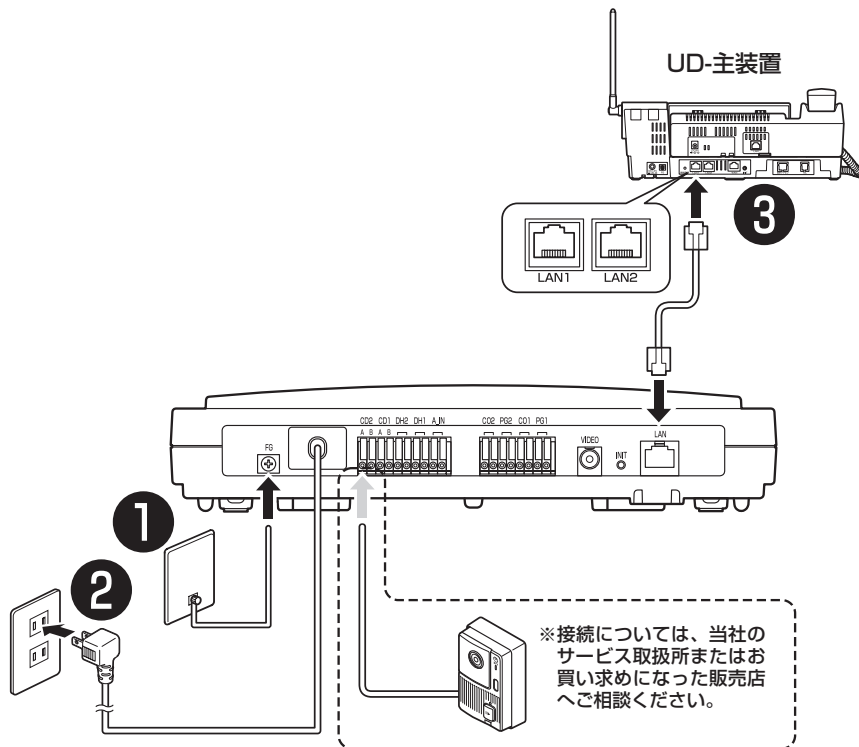
本商品を壁に取り付ける際、この矢印の間隔にネジを取り付けてください。向きは縦向きです。ご注意ください。
壁掛け用ネジ取り付け間隔

(135 mm)

本商品を接続する

本商品をUD-主装置に接続する

UD-主装置の接続は完了していますか？ 完了していない場合は、UD-主装置の箱に入っている『最初にお読みください ①セットアップガイド』をご覧ください。UD-主装置を接続してください。
準備が完了したら、次の手順でUD-映像アダプタを接続してください。



1 アース線をFG端子につなぐ

アース線は、お手もとの環境に合った長さのものを別途お買い求めください。

2 UD-映像アダプタの電源を入れる

UD-映像アダプタの電源コードのプラグを電源コンセントに差し込みます。

3

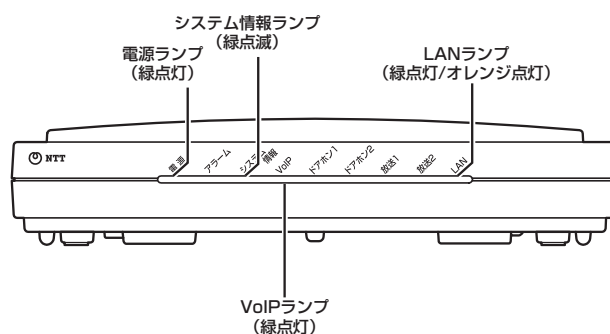
UD-主装置とUD-映像アダプタを接続する

市販のLANケーブルで、UD-主装置のLAN1ポートとUD-映像アダプタのLANポートを接続します。

※LANケーブルはCAT5以上を使用してください。

4

ランプ表示を確認する



ワンポイント

●UD-主装置のLANポートが足りないときは

ハブを介してUD-主装置とUD-映像アダプタを接続してください。ハブは、当社推奨のWeb Caster HUB-5PLをご使用ください。

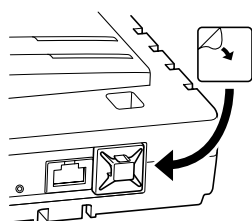
●ランプが正しく表示されないときは

接続を再度ご確認ください。電源を入れ直してください。

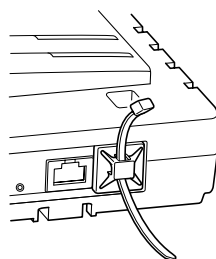
●コードやケーブルなどをまとめて固定するには

付属品の固定具と結束バンドを使って、UD-映像アダプタの背面の右端にケーブル類をまとめます。

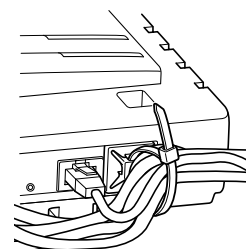
① 固定具の裏面のシールをはがし、UD-映像アダプタの背面に貼り付ける



② 固定具の穴に結束バンドを通す



③ ケーブル類を結束バンドでまとめる



本商品にカメラドアホンを接続する

カラーカメラドアホンの接続については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

フレッツフォン／FOMAで操作するには

カメラドアホンからの呼び出しに、内線電話機のフレッツフォンやFOMAで応答することができます。フレッツフォンやFOMAからカメラドアホンを呼び出して、外の様子を確認することもできます。また、FOMAでは保存した映像を再生したり削除したりすることもできます。

必要な準備について

●FOMAで操作するには

FOMAでカメラドアホンに応答したり、映像の再生や削除などの操作をするには、FOMAからプッシュ信号を送出する必要があります。プッシュ信号を送出する方法については、FOMAの取扱説明書を参照してください。

※一部のテレビ電話未対応機器、およびプッシュ信号送未対応の機器はご利用になれません。

●FOMAでカメラドアホンに応答するには

カメラドアホンからの呼び出しにFOMAで応答するには、あらかじめドアホン転送の設定が必要です。(☛UD-主装置の取扱説明書『②総合編』、UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』)

また、FOMAでテレビ電話応答するには、テレビ電話接続サービス(無料)のご契約と設定が必要です。

●FOMAからカメラドアホンを呼び出して外の様子を確認したり、保存した映像を再生／削除するには

FOMAからカメラドアホンを呼び出して映像を確認したり、保存されている映像を操作するには、ひかり電話対応機器のアナログ端末の設定を「使用しない」に設定してください。設定方法については、ひかり電話対応機器の取扱説明書を参照してください。

また、テレビ電話接続サービス(無料)のご契約と設定、「UD-映像アダプタリモート設定」の設定が必要です。(☛UD-主装置の取扱説明書『②総合編』)

あわせて、Webブラウザを使った次の設定を行ってください。

- ・リモート接続時に使用する4桁のパスワードの設定 (☛P30「外線設定」のPBパスワード)
- ・リモート接続を行うFOMAの電話番号(最大5件)の登録 (☛P30「外線設定」のFOMA電話番号1～5)

遅延応答について

カメラドアホンからの呼び出しにフレッツフォンまたはFOMAで応答すると、応答側の画面にカメラドアホンの映像が映ります。このとき、応答側の声は相手に聞こえません。映像で来訪者を確認した後、ボタン操作を行うことにより、通話できる状態に切り替えられます。



通話できる状態に切り替えなかった場合は、約1分で切断されます。

フレッツフォンの場合、応答動作(☛P29)をお買い求め時に設定されている「遅延応答」から「通常応答」に変更すると、応答と同時に通話できるようになります。

映像の保存について

●自動保存について

カメラドアホンから呼び出しがあると、カメラドアホンの映像が自動的に保存されます。映像動作設定（●P29）により、録画開始のタイミングや保存する映像の秒数を変更することができます。また、留守などで応答が行われなかったときだけ映像を保存するように設定することもできます。保存開始タイマが満了する前に通話を終了した場合、映像は保存されません。また、遅延応答操作（●P20）による一次応答状態から通話できる状態に切り替えなかった場合やカメラドアホン親機で応答した場合は、未応答保存されます。

なお、カメラドアホンからの呼び出しに応答した場合は、通話終了後の約5秒間（映像の自動保存中）は、次の操作が行えません。

- ・ 外の様子の確認
- ・ 保存されている映像の再生／削除

●手動保存について

カメラドアホンとUD-標準電話機との通話中に、UD-標準電話機を操作する（●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』）ことによって映像を保存することができます。

映像動作設定（●P29）により、保存する映像の秒数を変更することができます。なお、UD-標準電話機で保存操作を行った場合、録画終了後の約5秒間（映像の保存中）は、次の保存操作を行えません。

●保存件数について

最大録画件数は10件です。

10件保存されている状態で新たに映像を保存する場合は、非保護データの中の一番古いデータを削除し、書き換えを行います。

●保護について

保存された映像を2件まで保護することができます。（●UD-標準電話機の取扱説明書『③基本イメージ/携帯イメージ編』または『④シンプルイメージ編』）

●保存する内容について

保存されるデータは、映像とカメラドアホン側の音声となります。カメラドアホン親機を接続している場合は、応答後からの音声も保存されます。



お知らせ

- ご使用のカメラドアホンによっては、夜間などカメラドアホン側が暗いときに白黒映像になります。

ドアホンからの呼び出しに应答するには

カメラドアホンの映像を確認した後、ブッシュ信号を送出してリモート操作することにより、通話できる状態になります。

1 テレビ電話の应答操作をする

カメラドアホンの映像が表示されます。こちら側の声は相手に聞こえません。FOMAで应答した場合、相手の映像が表示されるまでに、約11秒かかります。

2 音声ガイダンスに従って **(0おん)** を押す

「ピー」という音が聞こえたら、テレビ電話で通話できる状態になります。

3 お話が終わったら電話を切る



ワンポイント

- FOMAからブッシュ信号を送出するには (P20)
- カメラドアホンの映像を確認後、お話しせずに電話を切るには
通常と同じように、電話を切る操作をします。
- テレビ電話を受けると同時に通話するには (フレッツフォンのみ)
应答動作 (P29) を「通常应答」に設定すると、テレビ電話を受けると同時に通話できるようになります。
このとき、カメラドアホンからの呼び出しに应答するには、次のように操作します。
 - ①テレビ電話の应答操作をする
 - ②カメラドアホンの相手とテレビ電話でお話する
 - ③お話しが終わったら電話を切る



お知らせ

- カメラドアホンからの呼び出しに应答しなかった場合、約30秒で呼び出しが止まります。
- 通話できる状態に切り替えなかった場合は、約1分で切断されます。
- カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カメラドアホンとの通話中は、他のカメラドアホンからの呼び出しは受けられません。

外の様子を確認するには

カメラドアホンの周囲の様子を確認することができます。

1
前
に
使
い
に
な
る

2
FOMA
操
作
手
順

3
行
う
Web
設
定
を

4
能
Web
保
守
機
を
利
用
す
る

5
参
考
に

1

カメラドアホンを呼び出す

●フレッツフォンで呼び出すときは

ドアホン番号（カメラドアホン1：⑧ ③）／カメラドアホン2：⑧ ④）を押し、発信ボタンを押す

●FOMAで呼び出すときは

①カメラドアホンの電話番号に電話をかける

②「映像アダプタリモート接続しました。ダイヤルをどうぞ。」のガイダンスが聞こえたら、4桁のPBパスワード（←P30）を押す

③「ピー」という音が聞こえたら、映像モニタ番号（カメラドアホン1：④₁ ④₂ ⑧₁ ③₂）／カメラドアホン2：④₁ ④₂ ⑧₁ ④₂）を押す

2

様子を確認する

カメラドアホンの映像が表示されます。

●フレッツフォンの場合

こちら側の声が相手に聞こえます。

●FOMAの場合

こちら側の声が相手に聞こえません。

3

確認が終わったら電話を切る



ワンポイント

●カメラドアホンの電話番号とは

カメラドアホンをリモート操作するための電話番号です。この電話番号の設定は、UD-主装置のWeb設定の「UD-映像アダプタリモート設定」で行います。着信できる電話番号のうち、リモート設定を「する」にした電話番号が、カメラドアホンの電話番号になります。（←UD-主装置の取扱説明書『②総合編』）

●FOMAからプッシュ信号を送ると

PBパスワードや映像モニタ番号を正しく押すと、「ピー」という確認音が聞こえます。番号が正しくなかった場合は、「ピピピピ」というエラー音が聞こえます。



お知らせ

- 外線設定のFOMA電話番号（←P30）に登録した電話番号のFOMAからしかリモート操作できません。
- カメラドアホンとの通話は、約8分で切れます。
- カメラドアホン1またはカメラドアホン2が通話中の場合、カメラドアホン1、2のどちらも呼び出すことはできません。
- PBパスワードが正しく入力されない場合は、約1分で切断されます。

映像をFOMAで再生／削除するには

ブッシュ信号を送出してリモート操作することにより、保存されている映像を再生したり削除したりすることができます。

1 カメラドアホンの電話番号にテレビ電話をかける

テレビ電話の発信方法については、FOMAの取扱説明書を参照してください。

2 「映像アダプタリモート接続しました。ダイヤルをどうぞ。」のガイダンスが聞こえたら、4桁のPBパスワード（☛P30）を押す

音声ガイダンスは、応答後、約11秒で送出が始まります。
「ピー」という音が聞こえたら、リモート操作番号の入力待ち状態になります。

ダイヤルボタンでリモート操作番号を押す

「ピー」という音が聞こえたら、蓄積映像操作番号の入力待ち状態になります。

一度リモート操作番号を押したあとで、再度リモート操作番号を押すと、「ピピピピ」というエラー音が聞こえます。

操作 (再生モード)	選択カメラドアホン	リモート操作 番号
すべての映像 を再生する	カメラドアホン1、2	4 [☛] 0 [☛]
	カメラドアホン1	4 [☛] 2 [☛] 8 [☛] 3 [☛]
未再生の映像 を再生する	カメラドアホン1、2	4 [☛] 1 [☛]
	カメラドアホン1	4 [☛] 3 [☛] 8 [☛] 3 [☛]
未再生の映像 を再生する	カメラドアホン2	4 [☛] 3 [☛] 8 [☛] 4 [☛]

3

4 ダイヤルボタンで蓄積映像操作番号を押して操作する

再生モード切替番号（すべての映像を再生する：2[☛]）
／未再生の映像を再生する：5[☛]）を押して、再生モードを切り替えることができます。

操 作	蓄積映像操作番号
再生中の次の映像を再生する	1 [☛]
再生中の前の映像を再生する	3 [☛]
再生中の映像を削除する	* [☛]

5 操作が終わったら電話を切る



ワンポイント

- カメラドアホンの電話番号とは（☛P23）
- FOMAからブッシュ信号を送出するには（☛P20）
- FOMAからカメラドアホンの外の様子を確認するには（☛P23）
- FOMAからブッシュ信号を送ると
PBパスワードや操作用の番号を正しく押すと、「ピー」という確認音が聞こえます。番号が正しくなかった場合や再生する映像がない場合は、「ピピピピ」というエラー音が聞こえます。



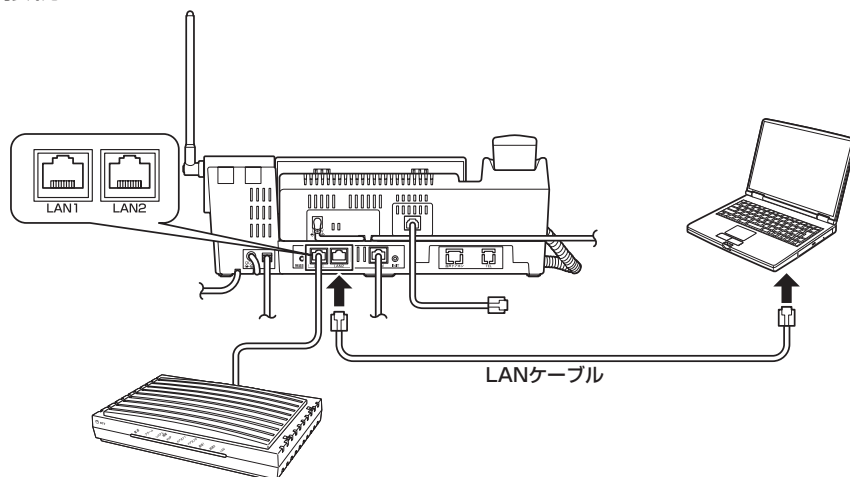
お知らせ

- 外線設定のFOMA電話番号（☛P30）に登録した電話番号のFOMAからしかリモート操作できません。
- 2台以上のFOMAから同時にリモート操作することはできません。
- すべての映像または未再生の映像を再生する場合、映像が保存された順に再生されます。
- 未再生映像は、リモート操作で再生した場合も「再生済み」となります。
- リモート操作は、約8分で自動的に終了します。
- 蓄積映像操作中に選択カメラドアホンを変更することはできません。
- リモート操作中にカメラドアホンから呼び出された場合は、自動的にリモート操作を終了します。
- PBパスワードが正しく入力されない場合は、約1分で切断されます。

UD-主装置にパソコンを接続する

Web設定を行うために、UD-主装置とパソコンを接続します。

UD-主装置のLAN 1 ポートまたはLAN2ポートとパソコンのLANポートを市販のLANケーブルで接続する



1

1
前に
お使
いにな
る

2
FOMA
で操作
する

3
Web
設定を
行う

4
Web
保守機
を利用
する

5
ご参
考に



ワンポイント

- UD-主装置のLANポートが足りないときは (●P19)
- Web設定を行う前に

本商品の推奨OSや、Webブラウザの設定を確認する操作などについては、UD-主装置の取扱説明書『@総合編』の「第2章 パソコンを設定する」を参照してください。

UD-映像アダプタ設定を行う

Webブラウザを使ってUD-映像アダプタに関する設定を行います。各画面の設定を終了するたびに設定の保存を行ってください。また、すべての設定が終了したら、全設定データの保存を行い、UD-映像アダプタを再起動してください。

本書ではInternet Explorer 7の画面イメージで説明しています。お使いになっているパソコンによっては表示が異なる場合があります。

1 Internet Explorerを起動する

2 アドレス欄に「http://192.168.25.1」と入力し、Enterキーを押す

UD-主装置のLAN側のIPアドレスを変更している場合、アドレス欄には変更したIPアドレスに合わせたURLを入力してください。(UD-主装置の取扱説明書『⑤詳細設定編』)



3 ユーザー名に「admin」、パスワードに「admin」と入力し、「OK」をクリックする

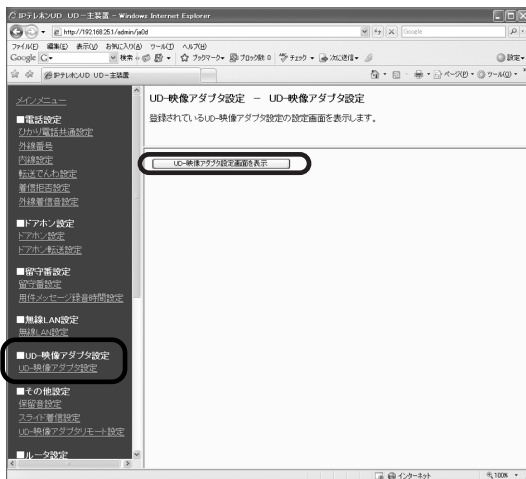
管理者パスワードを変更している場合は、そのパスワードを入力してください。

※ Internet Explorer 7をお使いの場合は、認証画面に警告が表示されますが、問題はありません。



Web設定画面が表示されます。

4 UD-主装置のメインメニューの「UD-映像アダプタ設定」をクリックし、「UD-映像アダプタ設定画面を表示」をクリックする



5

ユーザー名に「admin」、パスワードに「admin」と入力し「OK」をクリックする

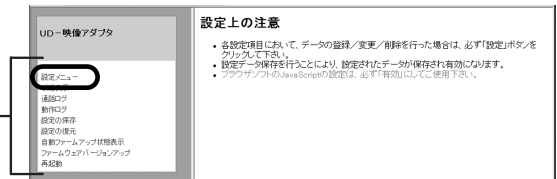
ブラウザが保守パスワードを変更している場合は、そのパスワードを入力してください。

6

メインメニューの「設定メニュー」をクリックする

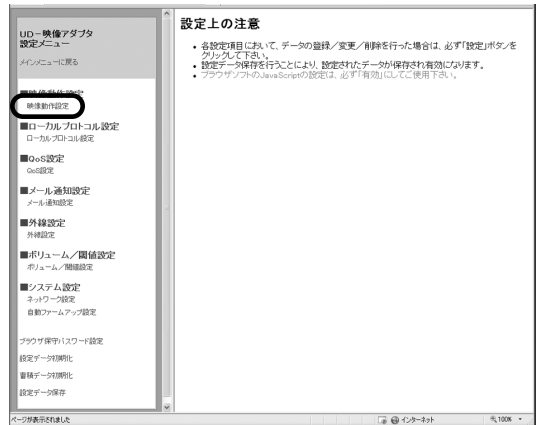
UD-映像アダプタ
のメインメニュー

設定メニュー画面が表示されます。



7

設定する項目をクリックする

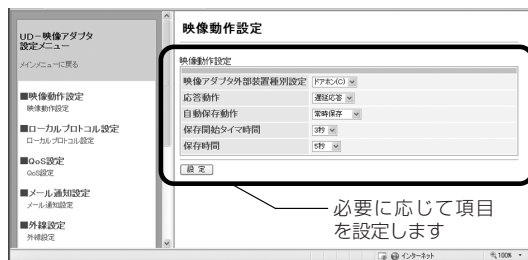


(次ページへつづく)

8

設定を行う

「UD-映像アダプタ設定一覧」(☛P29)



9

「設定」をクリックする

この設定画面の設定内容が保存されます。

10

設定の変更等がすべて終了したら、設定メニュー画面で「設定データ保存」をクリックする

11

「保存」をクリックし、「OK」をクリックする

設定内容がUD-映像アダプタに保存されます。

12

設定メニュー画面で「メインメニューに戻る」をクリックする

13

メインメニューの「再起動」をクリックする

14

「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする



ワンポイント

- 設定データをお買い求めのときの状態に戻すには
 - ① 手順1～6の操作をする
 - ② 設定メニューの「設定データ初期化」をクリックし、「初期化」をクリックして「OK」をクリックする
 - ③ 初期化が完了したら、手順10～14の操作をする

UD-映像アダプタ設定一覧

設定項目		説明	設定範囲	お買い求め時の設定	
映像動作設定	映像アダプタ外部装置種別設定	外部接続ドアホン種別を設定する。	ドアホン (C) / ドアホン (P)	ドアホン(C)	
	応答動作	フレッツフォンで応答した場合の動作を設定する。応答時にカメラドアホンのモニタ状態（カメラドアホンには応答側の音声を送信しない）にするには「遅延応答」、応答と同時に通話するには「通常応答」に設定する。	通常応答 / 遅延応答	遅延応答	
	自動保存動作	カメラドアホンのボタンが押されたときに、来客の映像を自動的に保存する機能を設定する。	常時保存 / 未応答保存 / 保存しない	常時保存	
	保存開始タイム時間	カメラドアホンのボタンが押されてから何秒後に映像の保存を開始するかを設定する。	3秒 / 4秒 / 5秒	3秒	
	保存時間	何秒間の映像を保存するかを設定する。	5～10秒	5秒	
ローカルプロトコル設定	主装置発見アドレス	UD-主装置発見用のアドレスを設定する。	0.0.0.1～255.255.255.254	224.0.0.200	
	主装置発見ポート	UD-主装置発見用のポート番号を設定する。	0～65535	60030	
	自ローカルポート	本商品のローカルポートを設定する。	0～65535	53722	
QoS設定	音声設定	先頭RTPポート番号	RTP開始ポート番号を設定する。	1024～65400	5070
		パケット化サイズ	RTPパケット化サイズを設定する。	20 ms / 40 ms / 60 ms	20 ms
		RTPアイドル検出時間	RTPアイドル検出時間を設定する。	なし / 30秒 / 60秒 / 90秒	30秒
		RTCP送信間隔	RTCP送信間隔を設定する。	5秒 / 10秒 / 15秒	5秒
		SDES送信周期	RTCP SDES送信周期を設定する。	1回 / 2回	1回
	通話品質・優先制御	ゆらぎ吸収	RTPゆらぎ吸収の動作を設定する。	有効 / 無効	有効
		最大許容遅延時間	ゆらぎ吸収「有効」の場合の最大許容遅延時間を設定する。	20～200 msの範囲で20 ms単位	100 ms
		最大蓄積パケット数	RTP最大蓄積パケット数を設定する。	1～30の範囲で、再生開始蓄積パケット数より大きい値	5
		再生開始蓄積パケット数	RTP再生開始蓄積パケット数を設定する。	1～10の範囲で、最大蓄積パケット数より小さい値	2
		パケットロス補償	RTPパケットロス補償動作を設定する。	有効 / 無効	有効

※ ■の項目は、設定を変更しないでください。
(次ページへつづく)

STOP お願い

- ■の項目の設定を変更すると、動作が不安定となる場合があります。誤って変更した場合は、「UD-映像アダプタをお買い求めのときの設定に戻す」(P44)の操作を行ってください。

1
前
お
使
い
に
な
る

2
F
O
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
Web
設
定
を

4
能
Web
を
利
用
す
る
機

5
ご
参
考
に

UD-映像アダプタ設定を行う

設定項目		説明	設定範囲	お買い求め時の設定	
メール通知設定	メール通知機能	メール通知機能を使うかどうかを設定する。 メール通知機能を使用する場合は「使用する」に設定し、自動保存動作を「未応答保存」に設定する。	使用しない/ 使用する	使用しない	
	PHONETO (電話番号)	メール通知受信時に折り返しリモート接続を行う接続先電話番号を設定する。UD-主装置のWeb設定で、UD-映像アダプタリモート設定を「する」に設定している外線番号を設定する。	32文字以内の半角数字 (0~9)	—	
	送信先メールアドレス	プロバイダのメールアドレスを設定する。	32文字以内の半角英数記号 (A~Z, a~z, 0~9, -, /, ., @, .)	—	
	SMTPサーバアドレス	送信メールサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定する。	32文字以内の半角英数記号 (A~Z, a~z, 0~9, -, /, .)	—	
	POPサーバアドレス	POP before SMTPを使用する場合に、POPサーバのIPアドレスまたはホスト名を設定する。	32文字以内の半角英数記号 (A~Z, a~z, 0~9, -, /, .)	—	
	POP before SMTP	POP before SMTPを使用するかどうかを設定する。	使用しない/ 使用する	使用しない	
	メールアカウント	POP before SMTPを使用する場合に、メールアカウントを設定する。	32文字以内の半角英数記号 (A~Z, a~z, 0~9, @, -, /, .)	—	
	メールアカウントパスワード	POP before SMTPを使用する場合に、メールアカウントのパスワードを設定する。	32文字以内の半角英数記号 (A~Z, a~z, 0~9, -, /, .)	—	
	メールアカウントパスワード確認	「メールアカウントパスワード」欄に入力した内容を、再度入力する。	32文字以内の半角英数記号 (A~Z, a~z, 0~9, -, /, .)	—	
	SMTPポート番号	SMTPポート番号を設定する。	0~65535	25	
POPポート番号	POPポート番号を設定する。	0~65535	110		
外線設定	パスワード設定	PBパスワード	リモート接続時の確認パスワード (4桁の数字) を設定する。	0000~9999	0000
	外線設定	FOMA電話番号番号1	リモート接続を許可するFOMAの電話番号を設定する。	32文字以内の半角数字 (0~9)	—
		FOMA電話番号番号2	リモート接続を許可するFOMAの電話番号を設定する。	32文字以内の半角数字 (0~9)	—
		FOMA電話番号番号3	リモート接続を許可するFOMAの電話番号を設定する。	32文字以内の半角数字 (0~9)	—
		FOMA電話番号番号4	リモート接続を許可するFOMAの電話番号を設定する。	32文字以内の半角数字 (0~9)	—
		FOMA電話番号番号5	リモート接続を許可するFOMAの電話番号を設定する。	32文字以内の半角数字 (0~9)	—

設定項目		説明	設定範囲	お買い求め時の設定	
ボリューム/ 閾値設定	ボリューム設定	送話ボリューム	送話時の音声ボリュームを設定する。	大/中/小	中
		受話ボリューム	受話時の音声ボリュームを設定する。	大/中/小	中
	閾値設定	送話閾値	送話時の閾値を設定する。	+1.5~+24dbの範囲で1.5db単位	+6db
		受話閾値	受話時の閾値を設定する。	+1.5~+24dbの範囲で1.5db単位	+6db
ネットワーク 設定	DHCP使用		DHCPを使用するかどうかを設定する。	する/しない	する
	IPアドレス		DHCPなしモード時のIPアドレスを設定する。	0.0.0.1~ 223.255.255.254	192.168. 25.249
	サブネットマスク		DHCPなしモード時のサブネットマスクを設定する。	128.0.0.0~ 255.255.255.255	255.255. 255.0
	デフォルトゲートウェイ		DHCPなしモード時のデフォルトゲートウェイを設定する。	0.0.0.1~ 223.255.255.254	192.168. 25.254
自動ファーム アップ設定	サーバアドレス		ファームウェア更新サーバのアドレスを設定する。	63文字以内の半角英数記号 (A~Z、a~z、0~9、-、_、.、/、:)	http://www. cpeinfo.jp/
	ファームウェア更新種別		ファームウェアの更新種別を設定する。	即時更新/ 自動更新/手動更新	手動更新
	定時更新時刻		自動ファームアップ更新時間を設定する。	0時00分~ 23時59分	2時00分
ブラウザ保守 パスワード設定	現在のパスワード		現在のパスワードを入力する。	32文字以内の半角英数字 (A~Z、a~z、0~9)	—
	新しいパスワード		新しいパスワードを設定する。	32文字以内の半角英数字 (A~Z、a~z、0~9)	—
	新しいパスワード (確認用)		「新しいパスワード」欄に入力した内容を再入力する。	32文字以内の半角英数字 (A~Z、a~z、0~9)	—

※ ■の項目は、設定を変更しないでください。



お願い

- ■の項目の設定を変更すると、動作が不安定となる場合があります。誤って変更した場合は、「UD-映像アダプタをお買い求めのときの設定に戻す」(P44) の操作を行ってください。



お知らせ

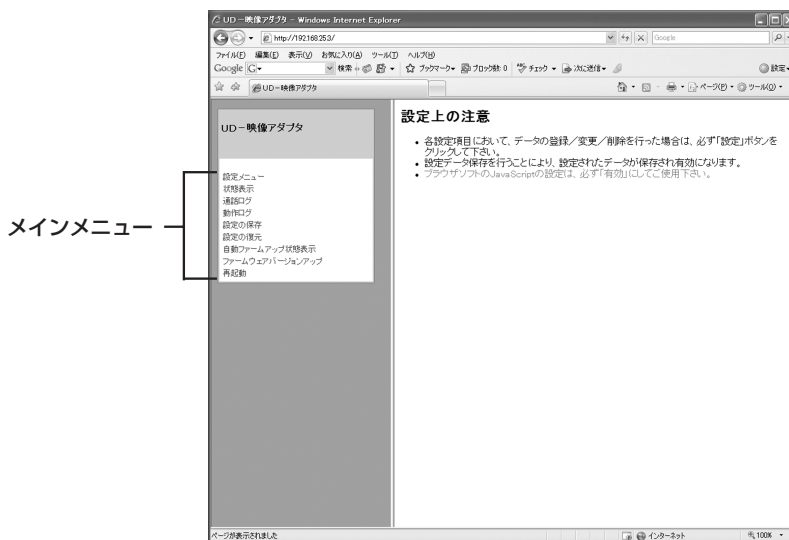
- メール通知設定のSMTPサーバアドレス (送信メールサーバのアドレス) は、インターネット接続をご契約したプロバイダが提供するSMTPサーバアドレスを設定してください。

UD-映像アダプタメインメニュー画面 を表示する

UD-主装置にパソコンを接続し、Webブラウザを使ってUD-映像アダプタに関する各種のデータを管理することができます。

Web保守機能の操作は、すべてWeb設定のUD-映像アダプタメインメニュー画面から行います。UD-主装置にパソコンを接続し（●P25）、「UD-映像アダプタ設定を行う」（●P26）の手順1～5の操作を行って、UD-映像アダプタのメインメニュー画面を表示させてください。

UD-映像アダプタメインメニュー画面



ブラウザ保守パスワードを設定する

UD-映像アダプタのブラウザ保守パスワードを変更することができます。

- 1 メインメニューの「設定メニュー」をクリックする
- 2 設定メニューの「ブラウザ保守パスワード設定」をクリックする
- 3 現在のパスワードを入力する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 もう一度、新しいパスワードを入力する
- 6 「設定」をクリックする
- 7 設定メニューの「設定データ保存」をクリックする
- 8 「保存」をクリックし、「OK」をクリックする
- 9 設定メニュー画面で「メインメニューに戻る」をクリックする
- 10 メインメニューの「再起動」をクリックする
- 11 「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする



ワンポイント

- 入力したパスワードを消去するには「クリア」をクリックします。

1
前
に
お
使
い
に
な
る

2
F
O
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
W
e
b
設
定
を

4
能
を
利
用
す
る
W
e
b
保
守
機

5
ご
参
考
に

現在の状態を確認する

UD-映像アダプタのファームウェアのバージョンや、動作の状態、保存した映像の情報、MACアドレスなどを確認します。

1 メインメニューの「状態表示」をクリックする

2 情報を確認する



ワンポイント

●保存されている映像を消去するには

次の操作を行うと、保護されている映像も含め、すべての映像が消去されます。

- ①メインメニューの「設定メニュー」をクリックする
- ②設定メニューの「蓄積データ初期化」をクリックし、「初期化」をクリックして「OK」をクリックする
- ③初期化が完了したら、UD-映像アダプタを再起動する (●P42)

通話のログを確認／保存／消去する

通話のログを画面で確認できます。また、ファイルに保存したり、消去したりできます。

1 メインメニューの「通話ログ」をクリックする

2 通話ログを確認する

3 ファイルを保存する場合は、「保存」をクリックし、ファイル名を入力して「保存」をクリックする

STOP **お願い**

- ダイアログボックスの「この種類のファイルであれば常に警告する」のチェックは外さないでください。外してしまうと、それ以降、ファイルの保存ができなくなってしまいます。

1
前
に
使
い
に
な
る

2
F
O
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
W
e
b
設
定
を

4
能
を
利
用
す
る
W
e
b
保
守
機

5
ご
参
考
に



ワンポイント

- 通話のログを消去するには「消去」をクリックします。

動作のログを確認／保存／消去する

動作のログを画面で確認できます。また、ファイルに保存したり、消去したりできます。

1 メインメニューの「動作ログ」をクリックする

2 動作ログを確認する

3 ファイルを保存する場合は、「保存」をクリックし、ファイル名を入力して「保存」をクリックする

STOP お願い

- ダイアログボックスの「この種類のファイルであれば常に警告する」のチェックは外さないでください。外してしまうと、それ以降、ファイルの保存ができなくなってしまいます。



ワンポイント

- 動作のログを消去するには「消去」をクリックします。

設定を保存する

さまざまな要因によって設定データが消失してしまった場合に備えて、UD-映像アダプタの全設定データの複製を作成しておくことができます。

1 メインメニューの「設定の保存」をクリックする

2

「保存」をクリックし、ファイル名を入力して「保存」をクリックする

STOP お願い

- ダイアログボックスの「この種類のファイルであれば常に警告する」のチェックは外さないでください。外してしまうと、それ以降、ファイルの保存ができなくなってしまいます。

1
前
に
使
い
に
な
る

2
F
O
R
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
Web
設
定
を

4
能
を
利
用
す
る
Web
保
守
機

5
ご
参
考
に



ワンポイント

- 保存したファイルを指定して設定を復元するには (P38)



お知らせ

- ブラウザ保守パスワードは保存されません。

設定を復元する

保存したファイルを指定して、設定データを復旧します。

- 1 メインメニューの「設定の復元」をクリックする
- 2 「参照」をクリックし、保存ファイルを選択して「開く」をクリックする
- 3 「実行」をクリックする
- 4 設定データの復元が終了したら、メインメニューの「設定メニュー」をクリックする
- 5 設定メニューの「設定データ保存」をクリックする
- 6 「保存」をクリックし、「OK」をクリックする
- 7 設定メニュー画面で「メインメニューに戻る」をクリックする
- 8 メインメニューの「再起動」をクリックする
- 9 「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする



お知らせ

- ブラウザ保守パスワードは復元されません。

自動ファームアップの設定を行う

Web設定画面で自動ファームアップを実施するかどうかを設定します。お買い求め時の設定では、アップデートの更新チェックは自動で行われますが、ファームウェアのダウンロードおよび更新は、自動で行われません。

1 メインメニューの「設定メニュー」をクリックする

2 設定メニューの「自動ファームアップ設定」をクリックする

3 ファームウェア更新種別を選択する

※サーバアドレスの設定は変更しないでください。変更すると、自動バージョンアップが正常に動作しなくなります。

即時更新：新しいプログラムがあった場合、即時にダウンロード／更新を行い、自動的に再起動します。

自動更新：新しいプログラムがあった場合、定時更新時刻に設定された時刻にダウンロード／更新を行い、自動的に再起動します。

手動更新：メインメニューの自動ファームアップ状態表示に更新プログラムがあることを確認して、手動でダウンロード／更新を行います。再起動も手動で行います。《お買い求め時の設定》

4 ファームウェア更新種別で「自動更新」を選択した場合は、自動更新を実施する時刻を入力する

新しいファームウェアがある場合、設定した時刻から1時間以内に新しいファームウェアをダウンロードします。

5 「設定」をクリックする

6 設定メニューの「設定データ保存」をクリックする

7 「保存」をクリックし、「OK」をクリックする

8 設定メニュー画面で「メインメニューに戻る」をクリックする

9 メインメニューの「再起動」をクリックする

10 「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする



お知らせ

- 通話中の場合は、ファームウェアのダウンロード／更新後の本装置の再起動は行われません。通話が終了後、再起動します。
- ファームウェア更新種別を「自動更新」または「即時更新」に設定した場合は、最新のファームウェアを自動的にダウンロードしてファームウェアの更新を行い、再起動します。
- ファームウェア更新中および再起動が完了するまでの間は、本商品の電源コードは絶対に抜かないでください。

1
前
使
い
に
な
る

2
F
O
R
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
W
e
b
設
定
を

4
能
を
利
用
す
る
W
e
b
保
守
機

5
ご
参
考
に

Webブラウザから手動で更新する

Web設定画面から手動でファームウェアを更新することができます。

1 メインメニューの「自動ファームアップ状態表示」をクリックする

2 「手動更新」をクリックする

新しいファームウェアがあるかどうかチェックします。

3 「ダウンロード」をクリックする

4 「最新状態表示」をクリックする

「ファームウェアバージョンアップ中」と表示された場合は、しばらく待ったあと、自動ファームアップ状態表示画面で「最新状態表示」をクリックしてください。

5 状態に「ダウンロード完了」と表示されたら、メインメニューの「再起動」をクリックする

「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする

6

STOP お願い

- 「ファームウェアのダウンロード中は、本商品の電源コードは絶対に抜かないでください。

ローカルでファームウェアを更新する

パソコン上のファームウェアを指定して、ファームウェアを更新します。

1 メインメニューの「ファームウェアバージョンアップ」をクリックする

2 「参照」をクリックし、ファームウェアを選択して「開く」をクリックする

3 「実行」をクリックする

STOP お願い

- 「実行」をクリックしたあとは、ブラウザの操作を行わないでください。故障の原因になります。

4 ファームウェアの更新が終了したら、UD-映像アダプタメインメニュー画面で「再起動」をクリックする

STOP お願い

- UD-映像アダプタのアラームランプが点滅している間は、絶対にUD-映像アダプタの電源を切ったり、LANケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になります。

5 「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする

1
前
に
使
い
に
な
る

2
F
O
R
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
W
e
b
設
定
を

4
能
を
利
用
す
る
W
e
b
保
守
機

5
ご
参
考
に

UD-映像アダプタを再起動する

UD-映像アダプタの再起動は、Web設定画面から行います。

- 1 メインメニューの「再起動」をクリックする
- 2 「再起動」をクリックし、「OK」をクリックする



お知らせ

- 通話中に再起動を行うと、カメラドアホンとの通話が切断されます。

停電になったときは

本商品は、停電時に使用することはできません。また、以下のことにご注意ください。

●メールアドレスなどの設定データは保持されます。

停電復帰時には主装置やプロバイダ等の理由により、メール送信ができない場合があります。(プロバイダによっては再接続を一定時間規制している場合もあります。)

●映像が保存されない場合があります。

通話中、または通話終了直後に停電した場合、録画データは保存されない場合があります。

1
前
に
お
使
い
に
な
る

2
F
O
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
W
e
b
設
定
を

4
能
を
利
用
す
る
機

5
ご
参
考
に

UD-映像アダプタをお買い求めのときの状態に戻す

お使いのUD-映像アダプタを廃棄、譲渡、または返却するときは、次の操作を行ってUD-映像アダプタをお買い求め時の状態に戻してください。

- 1 UD-映像アダプタの電源コードのプラグを抜いて、電源を切る
- 2 初期化スイッチ（●P15）を押しながら、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込み、電源を入れる
- 3 UD-映像アダプタのLANランプ以外のすべてのランプが点灯するまで、初期化スイッチを押し続ける
LANランプ以外のすべてのランプが点灯したら、初期化は完了です。



お知らせ

- 本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定した情報を消去してください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼する前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
電源ランプが点灯しない	電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されているか確認してください。接続されている場合は、テーブルタップなどに電源が供給されているか、ほかの電気製品などで確認してください。	—
LANランプが点灯しない	配線が間違っている	LANケーブルがきちんとLANポートに接続されていることを確認してください。	●P18
映像が表示できる電話機にカメラドアホンの映像が表示されない	配線が間違っている	正しく接続してください。	●P18
	UD-主装置のカメラドアホンの設定が間違っている	正しく設定してください。	UD-主装置の取扱説明書『②総合編』
Web接続ができない	DHCPによるIPアドレスが取得できない	DHCPサーバとの接続を確認してください。	—
WebブラウザでUD-主装置にログインできない	パソコンの設定が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> パソコンにIPアドレスが設定されていることを確認してください。(ipconfigコマンドなど) IPアドレスが正しく設定されていないときは、パソコンのIPアドレスの取得方法がDHCP(自動取得)となっているか確認してください。 ブラウザのキャッシュ情報をクリアするためにパソコンを再起動してください。 UD-主装置とパソコンの電源を入れ直してください。 	UD-主装置の取扱説明書『②総合編』
	ユーザ名/パスワードが間違っている	正しいユーザ名(admin)とパスワード(お買い求め時:admin)を入力してください。 ※パスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。お忘れになった場合は、UD-主装置を初期化してください。	
	パスワードを変更したあとに設定保存していない	パスワードを変更したときは「設定データ保存」を必ず行ってください。忘れると、UD-主装置を再起動したあとや、電源を入れ直したあとに元のパスワードへ戻ってしまいます。	
WebブラウザでUD-映像アダプタにログインできない	ユーザ名/パスワードが間違っている	正しいユーザ名(admin)とパスワード(お買い求め時:admin)を入力してください。 ※パスワードは忘れないようにメモして安全な場所に保管してください。お忘れになった場合は、本商品を初期化(●P44)してください。	—
	パスワードを設定したあと、設定保存をしていない	パスワードを変更したときは、必ず「設定データ保存」を行ってください。この操作を忘れると、再起動したあとや、本商品の電源を入れ直したあとに、元のパスワードに戻ってしまいます。	●P33

(次ページへつづく)

1
前
お
使
い
に
な
る2
F
O
M
A
で
操
作
す
る3
行
う
Web
設定
を4
能
Web
利用
する
機5
ご
参
考
に

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
Webブラウザで変更したとおりに動作しない	Webブラウザの適切なバージョンをインストールしていない	Webブラウザのバージョンを確認してください。古いバージョンをお使いの場合は新しいバージョンをインストールしてください。	UD-主装置の取扱説明書『②総合編』
	本商品の設定反映後、設定保存していない	設定を変更したときは、「設定データ保存」を必ず行ってください。	☛P28
FOMAへ転送できない	UD-主装置のドアホン転送の設定が間違っている	正しく設定してください。	UD-主装置の取扱説明書『②総合編』
アラームランプが赤点灯している	本商品に異常が発生した	本商品の電源を入れ直してください。それでも改善しない場合は、当社のお問い合わせ先窓口へお問い合わせください。	—
通話が途切れる または、ほとんど聞こえない	周囲の音が大きい	自分の周囲または通話相手の周囲で、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていると、通話が途切れることがあります。	—
メールが送信されない	Web設定が間違っているか、設定されていない	Web設定を正しく設定してください。	☛P30
カメラドアホンの電源ランプが点灯しない	配線が間違っている	正しく接続してください。	☛P18
カメラドアホンの映像がちらつく	撮影中やボタン操作の際にちらつくことがあります	故障ではありません。	—
カメラドアホン2台で話せない	カメラドアホン2台で同時に話すことができない	カメラドアホンを2台設置しているときは1台のカメラドアホンでお話し中の場合は、もう1台のカメラドアホンから呼び出すことはできません。また、1台のカメラドアホンでお話し中の場合は、カメラドアホンを呼び出すことはできません。	—
UD-映像アダプタがあたたかい	内部に発熱するところがあるため、多少温度が上がる	故障ではありません。	—

アルファベット

A_IN	15
CD1/CD2接続端子	15
DH1/DH2接続端子	15
FG端子	15
FOMA	
FOMAで操作するための準備	20
映像を再生/削除する	24
外の様子を確認する	23
INIT	15
LANポート	15
LANポートが足りないとき	19
LANランプ	15、16
NTT通信機器お取扱相談センタシール	14
PBパスワード	20、30
QoS設定	29
UD-映像アダプタメニュー画面	32
UD-主装置	11
UD-主装置にパソコンを接続する	25
本商品をUD-主装置に接続する	18
UD-標準電話機	11
VIDEO	15
VoIPランプ	15、16
Web設定	26
UD-映像アダプタ設定一覧	29
UD-映像アダプタ設定を行う	26
Web保守機能	32

五十音

【ア行】

アース線	15、18
アラームランプ	15、16
映像	
映像の保存について	21
カメラドアホンの映像を確認する	23
保存されている映像を再生/削除する	24
映像アダプタ本体	14
映像動作設定	29
映像入力端子	15
応答	
遅延応答について	20
ドアホンからの呼び出しに応答する	22
音声放送1/2接続端子	15

【カ行】

外線設定	20、30
各部の名前とはたらき	15
壁掛け用品	14、17
結束バンド	14、19
結束バンド固定具	14、19

更新

ファームウェアを更新する	40
故障かな?と思ったら	45

【サ行】

再起動	42
再生	
保存されている映像を再生する	24
削除	
保存されている映像を削除する	24
システム概要	11
システム情報ランプ	15、16
自動ファームアップ設定	31
自動保存	
映像の自動保存について	21
設定を変更する	29
仕様	49
状態表示	34
初期化スイッチ	15、44
据え置き台	14、17
接続	
UD-主装置にパソコンを接続する	25
本商品にカメラドアホンを接続する	19
本商品をUD-主装置に接続する	18
設置設定	17
Web設定を行う	26
復元する	38
保存する	37
セットの確認	14

【タ行】

遅延応答	20
ドアホンからの呼び出しに応答する	22
通話ログ	35
停電	43
電源コード	15
電源ランプ	15、16
ドアホン1ランプ	15、16
ドアホン2ランプ	15、16
ドアホン親機接続用接点入力端子	15
ドアホンからの呼び出しに応答する	22
ドアホンの映像を見る	23
動作ログ	36

【ナ行】

内線電話機	
呼び出しを受ける内線電話機を設定する	12
ネットワーク設定	31

1
お
使
い
に
な
る2
F
O
M
A
で
操
作
す
る3
W
e
b
設
定
を4
W
e
b
保
守
機
を
利
用
す
る5
ご
参
考
に

【ハ行】**パソコン**

- UD-映像アダプタ設定を行う26
- UD-主装置にパソコンを接続する25
- Web保守機能を利用する32

発信

- カメラドアホンに発信して外の様子を確認する
.....23

ハブ19**ひかり電話対応機器**11、20**ファームウェアバージョンアップ**41**復元**38**付属品**14**ブラウザ保守パスワード設定**31、33**フレッツフォン**

- 外の様子を確認する23
- ドアホンからの呼び出しに応答する22

放送1ランプ15、16**放送2ランプ**15、16**保守サービス**50**保証書**14**ボリューム／閾値設定**31**【マ行】****メール通知設定**30**【ラ行】****ランプ**15**ランプ表示**16**リモート操作**24**ローカルプロトコル設定**29**ログ**

- 通話のログを確認／保存／消去する35
- 動作のログを確認／保存／消去する36

項 目		内 容	
ドアホン	ドアホン親機	音声	2ポート（同時通話不可） スクリーレス端子台※
		映像	1ポート（NTSC入力） RCA端子(黄色)
		制御	1ポート（接点入力） スクリーレス端子台※
	カメラドアホン	ポート数	2ポート（同時通話不可）
		接続コネクタ	スクリーレス端子台※
外部放送		ポート数	2ポート
		接点出力	2ポート メイクドライ接点（電源容量 10 mA 絶縁耐圧 500 V）
		接続コネクタ	スクリーレス端子台※
LAN		インタフェース	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX オートネゴシエーション、Auto MDI/MDI-X対応
		ポート数	1ポート
		通信速度	10M/100Mbps
		接続コネクタ	RJ45（8ピンモジュラジャック）
マンマシン/I/F		LED	電源、アラーム、システム情報、VoIP、ドアホン1、 ドアホン2、放送1、放送2、LAN
		スイッチ	初期化
画像圧縮		動画	MPEG4-part2 SP@L0(最大QCIF 5fps)
VoIP		呼制御	SIP(RFC3261)
		音声圧縮	G.711(μLaw)
電源			AC100 V ±10% 50/60 Hz
消費電力			最大20 W
電源コード			白色 2.5 m
筐体色			白
装置サイズ			約260 mm(W) ×約172 mm(D) ×約54 mm(H)
装置重量			約920 g

※ 標準線径：単線直径1 mm、使用可能範囲：単線直径0.4～1.2 mm

1
前
に
お
使
い
に
な
る

2
F
O
M
A
で
操
作
す
る

3
行
う
Web
設
定
を

4
能
Web
保
守
機
を
利
用
す
る

5
ご
参
考
に

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。
「保証書」は本商品に添付されています。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無償で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

●故障の場合は

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎0120-242751

受付時間 24時間365日

※ 17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※ 故障修理などの対応時間 9:00～17:00

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎0120-248995

受付時間 24時間365日

※ 故障修理などの対応時間 9:00～17:00

MEMO



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

環境を考慮して大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方でご不明の点がございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

NTT東日本 IP電話対応機器お取扱相談センタ

☎0120-710444

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7200（通話料金がかかります）

受付時間 9:00~21:00

年末年始 12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

NTT西日本 通信機器取扱相談センタ

☎0120-^{トクニイナ}109217

携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
東海・北陸・近畿・中国・四国地区

06-6341-5411（通話料金がかかります）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります）

受付時間 9:00~21:00

年末年始 12月29日~1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。



©2007 NTTEAST・NTTWEST

本2906-1(2007.12)

UD-VIADPトリセツ

4342060000 | H02